

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ダンスⅠ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考書（バレエの教則本）を紹介				
担当教員情報					
担当教員	ノリエ サトウ、佐藤 千絵		実務経験の有無・職種	有・ダンス教師	
学習目的					
筋力及び柔軟性を強化ししっかりした体感しなやかな肉体を作る。 健康の基本である姿勢を改善し重力の方向へのまっすぐな重心を作る。 グループ練習による協調性やダンスの振り付けなど創造力を養いまた肉体表現の楽しさ面白さを受け取る。					
到達目標					
クラシックバレエのベーシックなバーレッスンの積み重ねによる強くしかもしなやかな肉体を目指す。 フロア（センターレッスン）ではバレエ以外のステップも含め様々な初歩的ステップを習得する。 与えられた課題作品を完成させ人前で発表できるレベルまで高める。					
教育方法等					
授業概要	バーを補助に体幹、脚、腰を鍛えどんな状況にも耐え得る強い軸を造る。 鏡を活用し常にみせている自分が意識できるよう導き、肉体、心を研いでいく。 バレエレッスンの積み重ねで全身を使い切った動きが出来るようになる。				
注意点	24~26回の全授業を出席することが大前提。授業開始までに着替え、アップ、バーの準備を済ませておく。おしゃべり禁止。 口ではなく肉体を存分に動かそう！ 質問・疑問は次回に持ち越さずその時に解決しよう。退出時に忘れ物チェックをすること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	60%	授業を受ける姿勢、積極性、アプローチ		
	課題	30%	アピールの仕方、表現力、ダンス及び音楽センス、基本（学んだこと）を活かしているか		
	出・欠	10%	特にグループ発表での欠席の減点		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	バレエの授業の意義を理解する。基本のポジションを覚えレベルアップが出来る			
2回	バーレッスン、センターレッスン①	各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる			
3回	バーレッスン、センターレッスン②	各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる			
4回	バーレッスン、センターレッスン③	各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる			
5回	バーレッスン、センターレッスン④	各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる			
6回	バーレッスン、センターレッスン⑤	各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる			
7回	バーレッスン、センターレッスン⑥	正しい動きを理解し自分でも確認できる余裕がでてくる			
8回	バーレッスン、センターレッスン⑦	正しい動きを理解し自分でも確認できる余裕がでてくる			
9回	バーレッスン、ダンス振り渡し	スムーズにバーレッスンを進める。30秒程度の振りを授業内で覚えきる			
10回	バー、グループ分け、作品仕上げ	スムーズにバーレッスンを進める。メンバー同士協力して作品を仕上げる			
11回	バー、ダンス躍り込み	スムーズにバーレッスンを進める。自主的に練習を繰り返す 動きを整える			
12回	バー、各グループダンス発表	スムーズにバーレッスンを進める。練習の成果を十分に発揮できる 周りを意識できる余裕がある			
13回	バーレッスン、動きの復習・強化①	動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す			
14回	バーレッスン、動きの復習・強化②	動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す			
15回	バーレッスン、動きの復習・強化③	動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す			